

新型コロナウイルス対応によるDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、2050年カーボンニュートラルに向けた動き、世界的な半導体需給状況のひっ迫など、デジタルインフラの基盤となる半導体を取り巻く環境は大きく変化しています。また、我が国が目指すSociety 5.0はデータ活用之恩恵をだれもが安心して享受できるインクルーシブな社会であり、このような社会の実現には、データ活用とDXを推進し、日本全体をデジタル化する必要があります。そのためには、新しいデジタル産業・サービスを創出し、この多様なサービスを先進半導体・デザインが支えるというエコシステムの形成を日本全体で推進することが重要です。

本シンポジウムでは、その実現に向けた、オープンな先進半導体・デザイン活用プラットフォームの取り組み、ならびに、先進半導体・デザインにより社会を駆動するさまざまな取り組みや事例について、国内外の幅広い専門家に講演していただきます。

プログラム

講師、来賓の都合により予告無しに変更される場合があります。

14:00 開会(司会: 中村 宏 教授)

開催挨拶 藤井 輝夫 東京大学 総長
 来賓挨拶 堀内 義規 文部科学省 審議官 (研究開発局担当)
 来賓挨拶 門松 貴 経済産業省 審議官 (商務情報政策局・政策調整担当)

14:15 特別基調講演 (司会: 中村宏 教授)

「未来社会を創り続ける半導体」
 益 一哉 東京工業大学 学長

14:45 セッション1 先進半導体・デザイン活用プラットフォーム (司会: 平本 俊郎 教授)

「d.labのパーパス ～半導体の民主化～」
 黒田 忠広 東京大学 d.lab センター長
 「AIチップ設計拠点および成果例紹介」
 池田 誠 東京大学 d.lab 基盤設計研究部門 部門長
 「先端素子設計研究のための開かれたスーパークリーンルーム」
 三田 吉郎 東京大学 d.lab 基盤デバイス研究部門 部門長

休 憩

15:30 セッション2 先進半導体・デザイン活用社会 (司会: 平本 俊郎 教授)

“Democratizing IC Design: The Story of a New Movement”
 Boris Murmann Stanford University Professor
 “The Future of Semiconductor Innovation Platform”
 Kevin Zhang TSMC Senior Vice President
 「ルネサスのプロセッサ設計事例」
 大谷 寿賀子 博士 ルネサス エレクトロニクス株式会社 主管技師

「量子化技術をエッジAIのスタンダードに～LeapMindの挑戦」
 松田 総一 LeapMind株式会社 取締役 CEO

16:50 セッション3 新規デザインを素子にするオープンプラットフォーム (司会: 三田 吉郎 准教授)

「マルチ電子ビームマスク描画装置におけるLSI-MEMS開発」
 五島 嘉国 株式会社 ニューフレアテクノロジー
 R&D Department, Nuflare Technology America, Inc. Senior Manager
 「海外のオープンファシリティプラットフォーム」
 Michel de Labachererie 仏CNRS-RENATECH/EuroNanoLab Professor

17:30 まとめ 中村宏 総長特任補佐、d³イニシアチブ座長

先進半導体・デザインで 拓く未来社会創成 シンポジウム

これらの講演を通し、先進半導体・デザインが拓く未来社会の協創について考えていきます。

日時 2022年1月14日 14時-17時35分
 主催 東京大学未来社会協創推進本部 学知創出分科会 d³イニシアチブ
 後援 東京大学大学院工学系研究科 附属システムデザイン研究センター (d.lab)
 場所 東京大学 武田ホール / オンライン ハイブリッド開催
 言語 日本語・英語(同時通訳を予定)
 申込 要 (対面:1月7日締切 オンライン:1月11日締切)
<https://forms.gle/LyGKMZ2pxnDA8KdSA>

